

がん

PRESENTED BY AMERICA'S BIOPHARMACEUTICAL COMPANIES

開発中の薬剤およびワクチン750種 がんと闘いに希望の光をもたらす

がんの診断ほど、患者の皆様には恐怖と不安を抱かせるものはありません。しかし今日では、新しい、あるいは改良された数々の薬剤や治療法によって、がんを管理し、さらには克服することさえも可能となりつつあります。患者の皆様と家族の方々は、より効果的な治療法を求めており、米国の研究開発志向型製薬企業は、その要求に応えようと努力しています。

現在、製薬企業の研究者たちは、がんの治療薬750種の開発に取り組んでいます。その多くは、先端技術を用いてがんと闘うものですが、中には既存の薬剤を新しい方法で利用する革新的なものもあります。

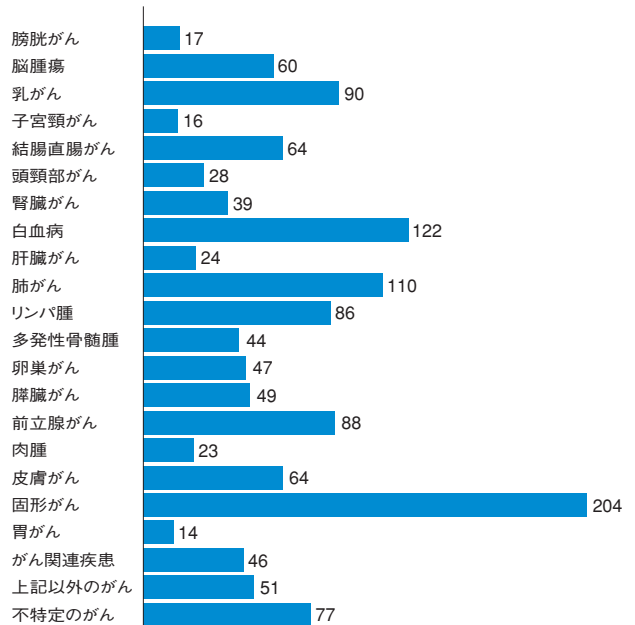
開発中の薬剤は、臨床試験、あるいは米食品医薬品局 (FDA) の承認待ちのいずれかの段階にあり、米国におけるがん死の主要因である肺がんの治療薬110種、今年米国で18万人強の女性が罹患すると予測される乳がんの治療薬90種、米国で男女ともに3番目に多いがんとされる結腸直腸がんの治療薬64種、今年米国で2万8,000人を超える男性が死亡すると予測される前立腺がんの治療薬88種などがあります。このほか、脳腫瘍、腎臓がん、卵巣がん、膵臓がん、皮膚がんなどを克服するための薬剤があり、さらに各企業は、がんの治療を受けている患者の皆様の生活の質 (QOL:クオリティー・オブ・ライフ) を向上させる薬剤の開発にも取り組んでいます。

このような、患者の皆様や研究開発に対する取り組みは、過去10年間におけるがんと闘いの中で見られた目覚ましい進展の根幹をなしており、がんの発症件数や、がんによる死亡件数の減少へとつながっています。Journal of the National Cancer Institute誌によると、がん患者数の上位10位に入る8つのがんの死亡率は、1990年代を通して横ばい、もしくは減少しました。

米国の研究開発志向型製薬企業は、がんと闘うために数々の最先端の治療法を用いており、その中には次のようなものが含まれています。

- ・ 化学療法の効果を妨げる可能性があるタンパク質の生成をおさえる薬剤1種
- ・ サソリから抽出した物質を合成し、それを直接脳腫瘍細胞に伝える薬剤1種
- ・ 黒色腫に対して強力な免疫作用を誘発するように開発された薬剤1種

開発中のがん治療薬*



*2つ以上の分野に分類されている薬剤もあります。

- ・ 特定のがん細胞を標的にして破壊し、患者の免疫システム全体を活性化させることを目的とする一次治療薬 (他の治療に先駆けて患者に用いられる) かつ画期的新薬候補の薬剤1種
- ・ 既存の治療法の障害を克服し、患者に対する薬剤の効果を高めるために新しいナノテクノロジーを用いる治療法

このように進展しているにもかかわらず、米国において、がんは今なお心疾患に次ぐ病気による死因の第2位となっています。今年、米国では、がんによる死亡者は56万5650人に達すると予測されており、これは、1日に1,500人以上の人が亡くなる計算となります。現在、研究開発志向型製薬企業が数百種類ものがん治療薬を開発中であるということは、患者の皆様へのニーズに応え、がんに関連する犠牲者の数を減らしたいという我々の希望を示すものです。

ビリー・トーザン
米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 理事長